

# 平成29年度市政懇談会会議録

開催日時：平成29年4月27日（木） 午後7時～午後8時

開催場所：あずま公民館 大会議室

参加者：107人

市側出席者：五十嵐市長、吉田副市長、徳江教育長

福田総務部長、池田企画部長、大澤財政部長、千吉良市民部長、小保方環境部長、  
町田健康推進部長、三澤福祉こども部長、横山長寿社会部長、出崎経済部長、  
喜楽建設部長、笠原都市計画部長、宮野公営事業部長、西川水道局長、  
小島消防長、高尾経営企画部長（市民病院）、須永会計管理者、下城議会事務局長、  
大澤監査委員事務局長、荻原教育部長

- 1 開 会 司会進行（企画調整課長）
- 2 特別職の紹介・市職員（部長職）の紹介
- 3 市長あいさつ

皆様、こんばんは。本日は、お忙しい中、また、夜分にもかかわらず、このように大勢の方にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

この市政懇談会は、年度当初に、本年度、本市がどのような方向に進んでいくかについて、事例を挙げながら概要をご説明させていただき、また、皆様からご意見やご質問等を受けながら、一緒に元気なまちづくりを進めていこうという主旨のもと、開催させていただくものです。

限られた時間のため、スクリーンをご覧くださいながら説明をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

- 4 重点政策の概要
  - (1) 平成29年度重点政策について <市長説明>
  - (2) 質疑応答 <特別職及び全部長職>

※質問及び回答の要旨を掲載しています。

## ◆ミニデイサービス及び地域包括ケアシステムの方向性について

### 【質問】

平成27年に介護保険制度が改正され、地域包括ケアシステムの構築が法制化されましたが、ミニデイサービスと地域包括ケアシステムが、今後どのように関わり合っていくかについてご質問します。ミニデイサービス自体の目的が、高齢者の孤立感の解消、元気な高齢者作り、地域の連帯ということなので、伊勢崎市独自の事業として大変素晴らしいものだと思っています。私の区では、平成18年から年に10回ミニデイサービスを実施しています。今後、地域包括ケアシステムは、どのような形でミニデイサービスに関わってくるのでしょうか。別々のものになっていくのか、あるいはミニデイサービスはなくなっていくのでしょうか。それらの方向性についてお伺いしたいと思います。

## 【回答】（長寿社会部長）

ミニデイサービスと地域包括ケアシステムの関係についてですが、目指すところは、いずれも、高齢者の方々を含めた地域作り、生活支援体制整備ということで、そうした意味では、方向性は1つだと考えています。ミニデイサービスと地域包括ケアシステムにおける具体的な生活支援体制整備事業として、「ふれあいの居場所づくり推進事業」というものがあります。この事業については、ミニデイサービス及び地域包括ケアシステムがそれぞれ相まって、地域作りという形で進んでいくものと考えています。

ミニデイサービスは、1人暮らし等で家にとじこもりがちな高齢者の方に対しての事業で、社会的な孤立感の解消、自立生活の助長及び介護予防等を目的としています。それに対して、ふれあいの居場所づくり推進事業は、年齢、性別等を問わず、地域内において常設型の地域拠点を作っていくことを目的としています。また、ミニデイサービスは行政が事業を委託して行うことに対し、ふれあいの居場所づくり推進事業は実施主体が住民の皆様になります。その他大きな相違点としては、ミニデイサービスには基準があります。例えば、開催1回当たりの人数が5人以上、事業1回当たりの開催日時は昼食を含んで4時間などの基準があります。一方、ふれあいの居場所づくり推進事業については、そこに集う方々の話し合いによってルールが決められていきます。このように、各事業において地域作りを進めているところですが、現在のところ、ミニデイサービスが統合されたり、なくなったりするというような具体的な構想はありません。各事業をそれぞれ支援してまいりたいと考えています。

## 【回答】（市長）

ミニデイサービスの説明がありました。地域包括ケアシステムについての主要業務は、相談業務になってくるかと思います。平成27年度までは、本市は市役所1カ所で開設していましたが、平成28年度からは、市内全域を9圏域に分け、9カ所に設置しています。法人の皆様へ委託していますが、地域包括ケアシステムは、お年を召した時に、医療関係、あるいは福祉関係等でお困りの場合に相談にのらせていただき、その方法を一緒に決めていくというようなことが主な内容になります。ミニデイサービスは、行政区の皆様にお骨折りいただきながら地域のご年配の方に集まっていたいただいているものですので、介護予防のような事業になろうかと思います。事業とすると、ミニデイサービスと地域包括ケアシステムは、それぞれ別の内容になりますので、将来それらが一緒の事業になるということはないかと思います。

## ◆ふれあいの居場所としての空き店舗等の運営費補助について

## 【質問】

町内の空き店舗をふれあいの居場所として活用しようということで、掃除をして、今日看板を上げたところです。活用していくには、場所、人、費用が常に絡んでくるでしょう。場所は確保でき、人も何とか確保できると思いますが、光熱費がかなり掛かるだろうと思います。ミニデイサービスと同様に、できれば、市から若干の助成金等をいただけるとありがたいと思います。

## 【回答】（市長）

ご質問ありがとうございます。町内で立ち上げていただけるということは、非常にあり

がたいことです。これまで、市内においては、行政区でそういった場所を立ち上げようという動きがなかったものですから、現時点では、今のお話のような施設関係への補助金等の制度はありませんが、ご指摘いただきましたので、今後、検討させていただきたいと思っております。

#### ◆地域コミュニティ活動事業補助金について

##### 【質問】

地域コミュニティ活動事業補助金は、世帯数に関わらず、一律最大30万円の補助金をいただけるということで、世帯数が少ない行政区にとっては、公平で有意義なもので、大変ありがたい制度だと思っています。ただ、制度の対象が、少し形あるものに制約され過ぎている傾向にあるように感じています。この制度が始まってから、今年で5年目になるかと思いますが、すでに形ある物はだいぶ充実してきているのではないかと思います。

区長を務めさせていただいたからこそその観点からですが、地域コミュニティの場、心の拠り所と言えるような、気兼ねなく、地域の人が安心して安全に集まれる場所がなくなってほしくないという思いがあります。しかし、現状では、地域の個人経営の店がほとんど廃業傾向にあります。個人経営の店に何とか頑張ってもらえるよう、地域でも何かしたいと思っています。そこで、こうした店を地域活動の一環で使用した場合に、その料金の一部をこの地域コミュニティ活動事業補助金の対象にできるようご検討いただけないでしょうか。もちろん、補助金30万円のうち使用上限を10万円にする、対象を体育祭、区の集まり、お祭り等に係る事前会合、打上げ、慰労会、お弁当代にするなどある程度の制限も必要だとは思っています。

プレミアム付商品券についてですが、どちらかというと、大型店に有利で、個人商店はほとんど恩恵を受けていないように見受けられます。個人商店は、経済面や時代の流れで淘汰されていくのは当然のことだと思いますが、人として血の通った何かがあっても良いのではないのでしょうか。

今後、地域の支え合いなどの観点からも、無駄だと思っていることが後々生きてくるということも考えられるので、ぜひ、この件についてご検討いただき、対処していただきたいと思っております。

##### 【回答】(市長)

ご指摘のとおり、各町内の小売店等の経営もなかなか厳しい状況にあらうかと思っております。大型店舗設置法等の関係もありましたし、郊外に大型店がかなりできてきたということも影響しているかと思っております。

プレミアム付商品券については、1万円で1万1千円分の商品券を購入できるということで、10%のプレミアムが付きます。商品券の半分は大型店でも使用できますが、全額分が小売店で使用可能になっていますので、大型店における使用枚数を制限させていただいているということになります。このように、プレミアム付商品券は、できるだけ地域の小売店でお使いいただきたいという趣旨で実施しているものです。

また、地域コミュニティ活動事業補助金についてですが、この制度を作った際、できるだけ使い勝手の良いものにしていこうということで、あまり制約を設けずにスタートしました。その中で、お願いをした内容が、飲食には使用しないでくださいということでした。このように、スタート時点における経過もありますので、なかなか変更する理由付けが難

しいとは思いますが、引き続き、検討させていただきたいと思います。

◆あずま小学校周辺の雨水対策について

【質問】

あずま小学校北側、給食センター東側の道路の雨水対策についてご質問させていただきます。あの道路は、水はけが悪く、北側と東側からくる雨水が合流してしまい、排水が間に合わず水たまりになり、小学生の登下校時には大変なことになってしまっています。このような道路の状態についてどのようにお考えでしょうか。

【回答】（建設部長）

あずま小学校北側の道路ということですが、実際に現地へ行き、状況を確認したうえで検討させていただきたいと思います。できる限りの処置を効率的な方法で考えたいと思いますので、まずは、現地を確認させていただいてから対応させていただきたいと思います。

その後の対応状況

ご指摘いただいた現場を質問者ご本人様と確認した結果、側溝浚渫（側溝清掃）を行うこととし、5月19日（金）に実施しました。

◇閉会あいさつ（市長）

本日は、夜分でお疲れのところ、また、お忙しい中、お集まりいただきまして、大変ありがとうございました。

また、皆様から、貴重なご意見やご質問等をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見等については、しっかり検討させていただきます。

これからも、将来に渡って人口が減ることのない、元気であり続ける伊勢崎を皆様とともに目指してまいりたいと思いますので、今後とも、引き続き、皆様のご指導、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日は、大変ありがとうございました。

5 閉 会（企画調整課長）